

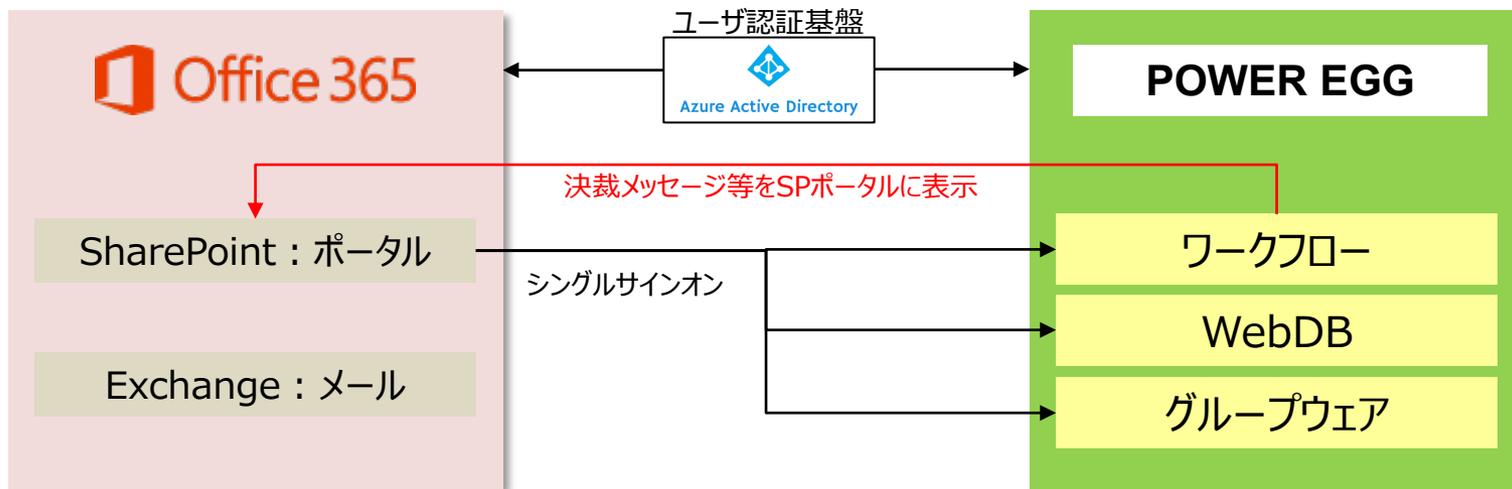
POWER EGG 3.0 Office 365連携

2020年11月

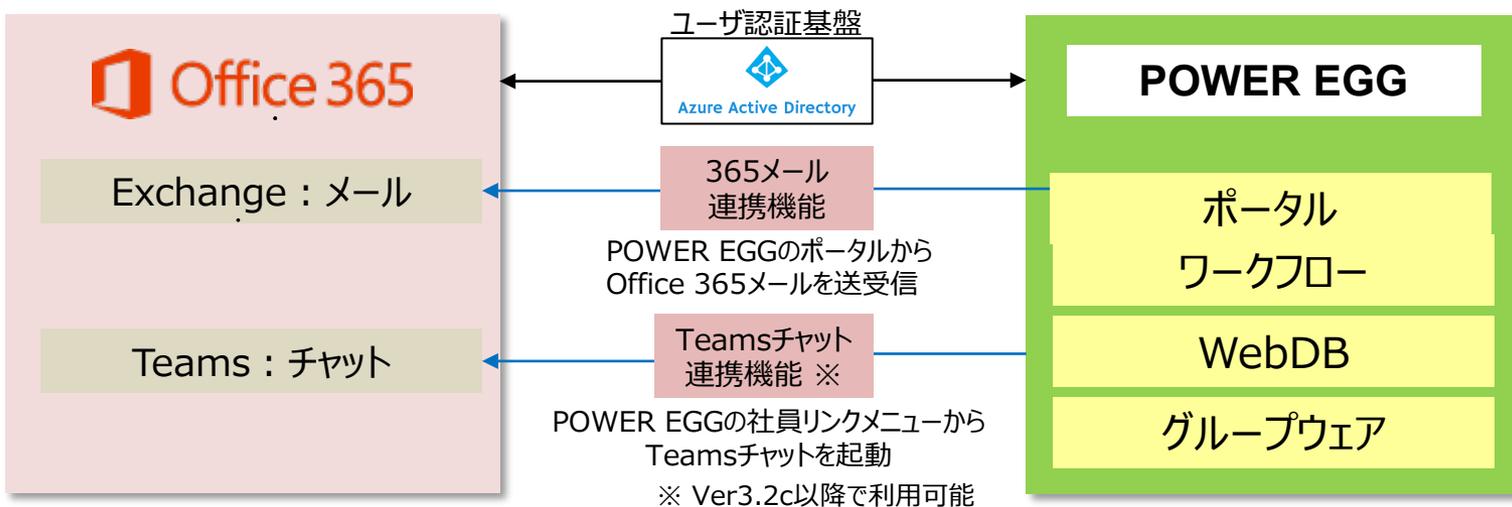
ディサークル株式会社

修正日・版	修正箇所・内容
2018/09/14 1.0版	初版 発行
2019/08/30 2.0版	Azure Active Directory管理センターのUI変更に対応
2020/06/17 3.0版	留意事項を追記
2020/11/12 4.0版	Teams連携機能に関する記述を追記、留意事項を追記
2020/11/26 5.0版	Teams連携機能はVer3.2c以降で利用できる旨を追記

Office 365利用ユーザ向け連携モデル：パターン①



POWER EGG利用ユーザ向け連携モデル：パターン②



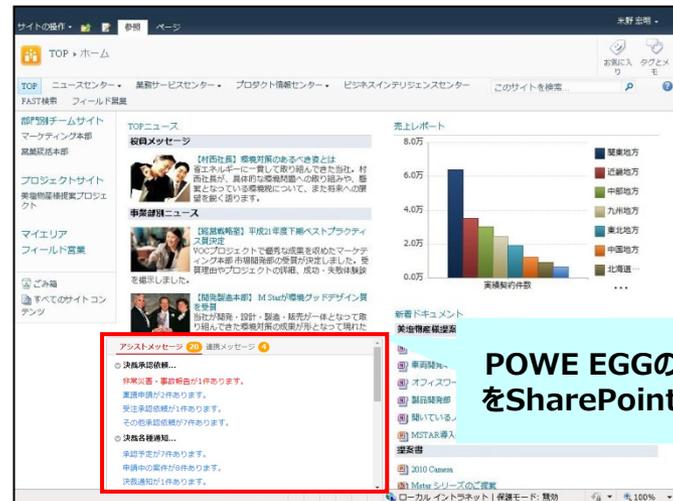
連携イメージ図①

パターン1 : Office 365からPOWER EGGにシングルサインオン

①Office 365にログイン



②. SharePointにログインし、POWER EGGアシストメッセージを表示



POWER EGGの決裁メッセージをSharePointポータルに表示

②Office 365メニューからPOWER EGGを起動



③POWER EGGにシングルサインオンし、ナビビューを表示



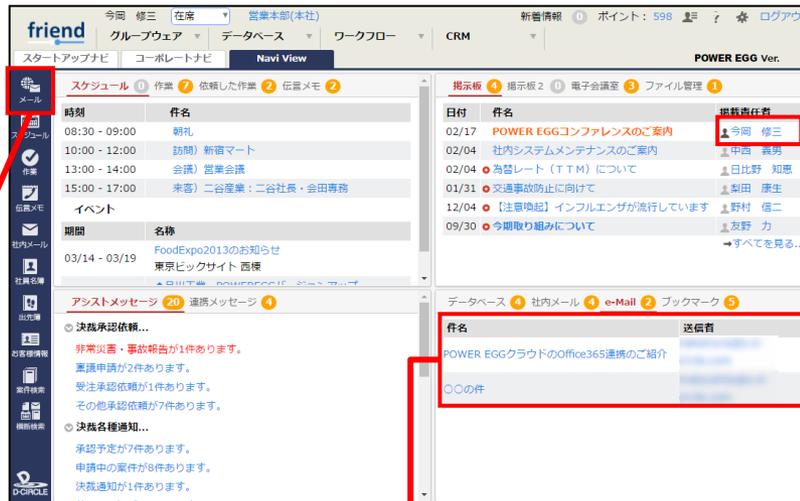
連携イメージ図②

パターン2 : POWER EGGからOffice 365にシングルサインオン

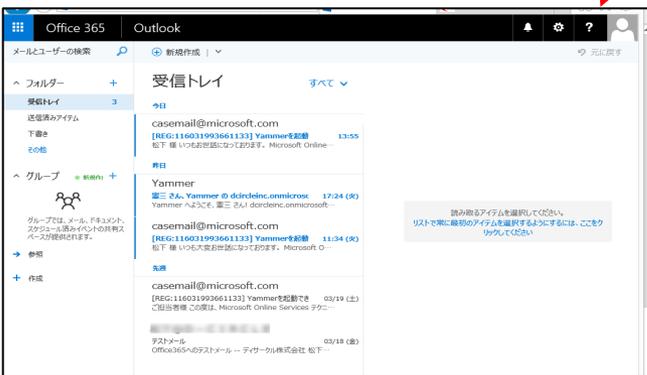
①POWER EGGのログイン時、Office 365(Azure AD)のログイン画面を表示



②ログイン後、ナビビューを表示



③ダイレクトボタンからOffice 365にシングルサインオン

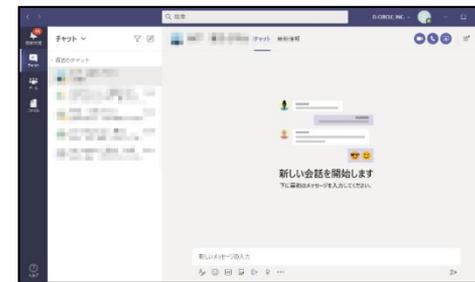


④ナビビューからOffice 365のメールを表示



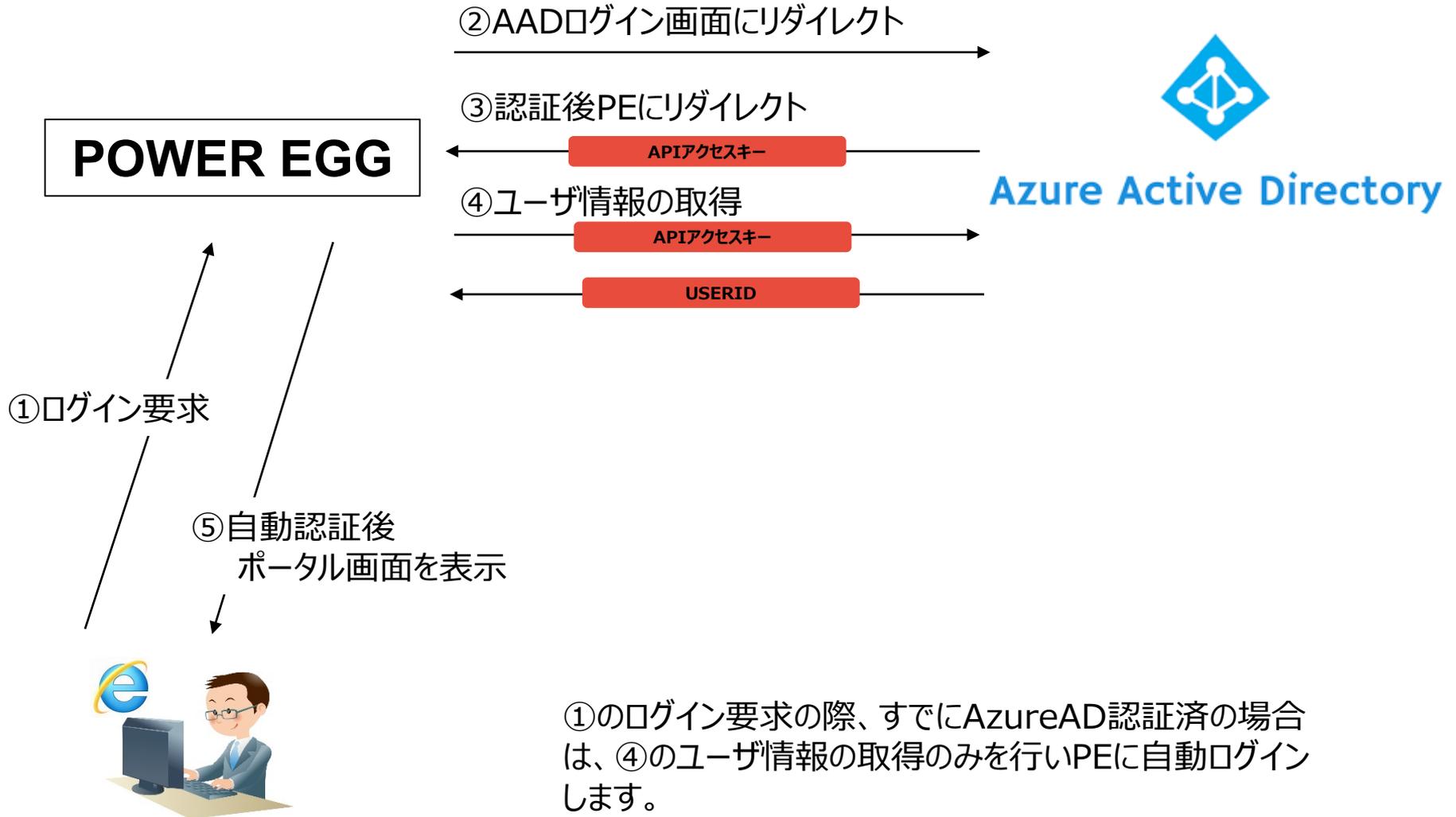
365メール連携機能

⑤社員リンクメニューからTeamsアプリを起動



Teamsチャット連携機能 ※

※Ver3.2c以降で利用可能



①のログイン要求の際、すでにAzureAD認証済の場合は、④のユーザ情報の取得のみを行いPEに自動ログインします。

認証プロトコルには、OpenIDを利用しています。

Office 365のログインIDをPOWER EGGの社員情報の「メモ1」にセットします。

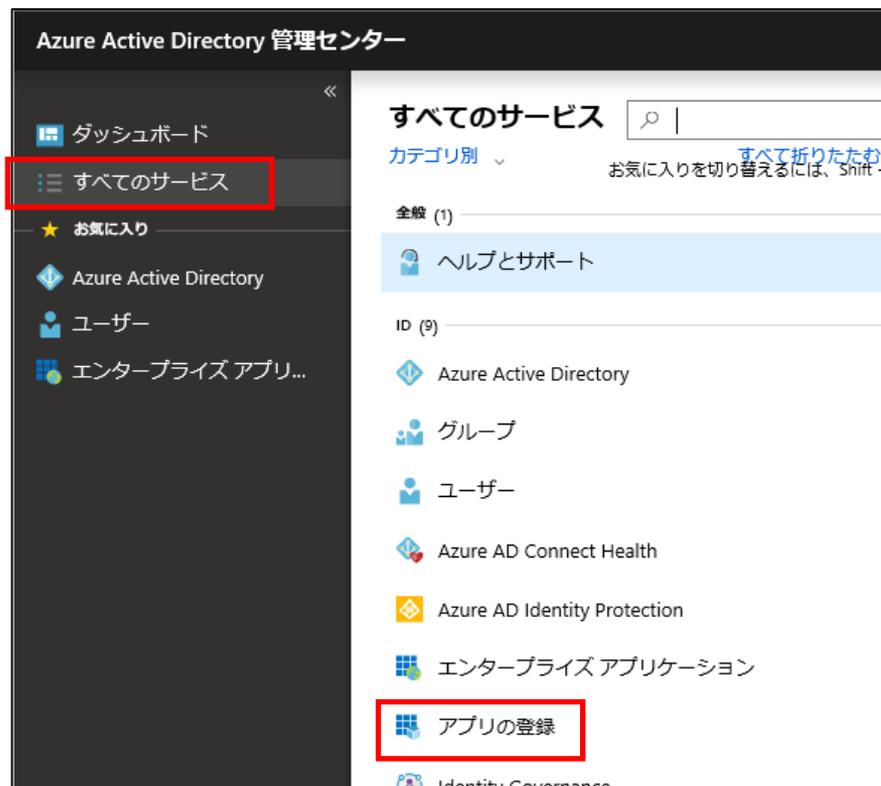
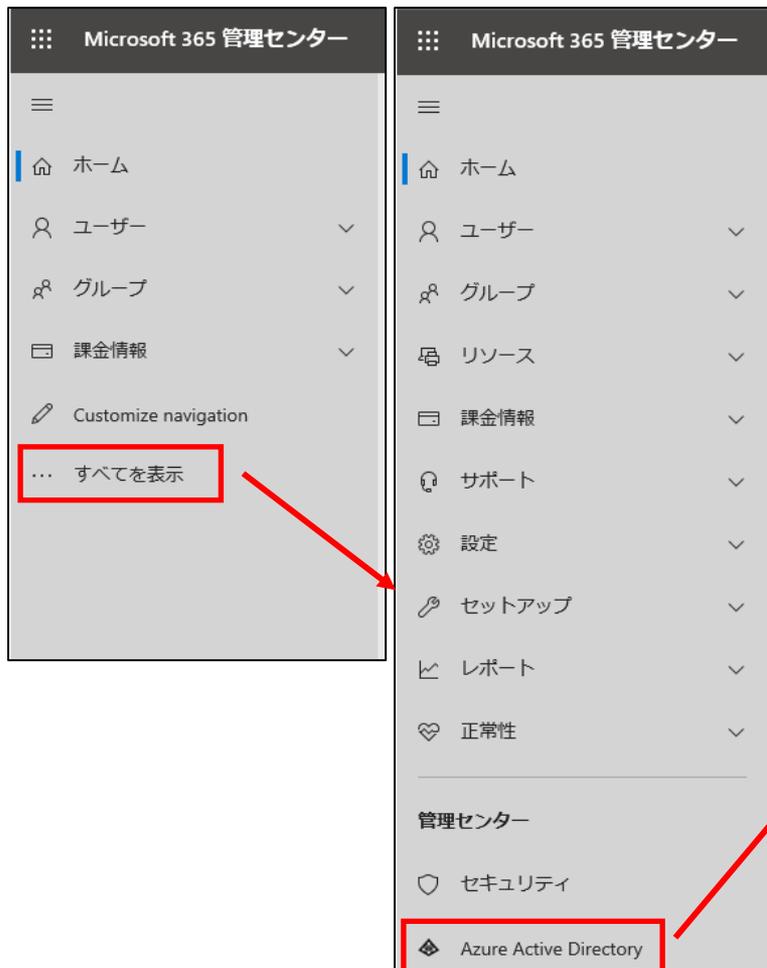
例： Office 365ログインID： imaoka@o.d-circle.com



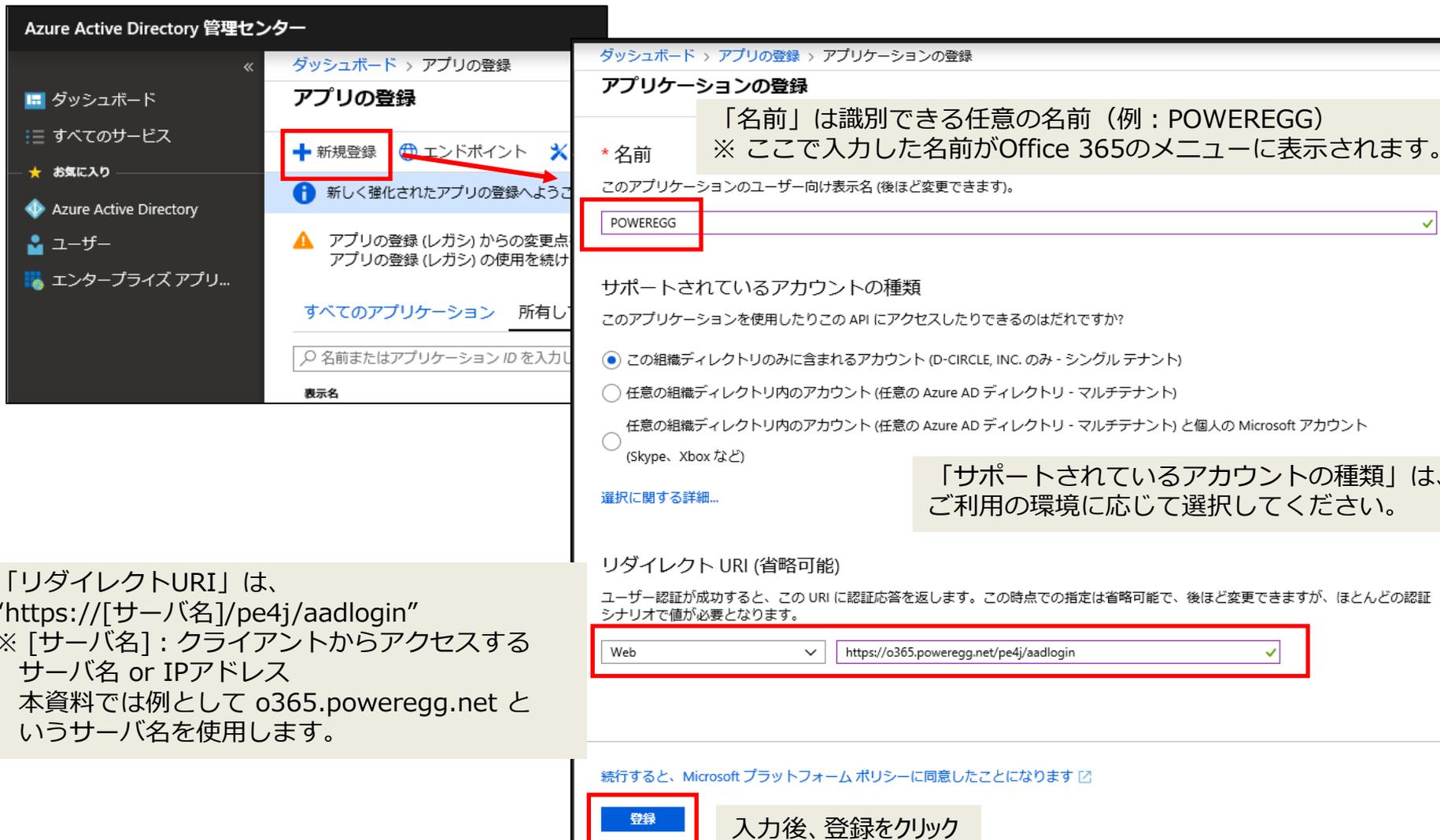
POWER EGG社員情報のメモ1： imaoka@o.d-circle.com

ユーザー、グループ等のAzure ADとの連携機能はありませんので、POWER EGGの組織情報（社員、部門等）はPOWER EGG側にあらかじめ登録しておく必要があります。

Office 365にログインし、管理画面から「Azure Active Directory 管理センター」を開き、「アプリの登録」を開きます。



「アプリの登録」で「新規登録」を押し、アプリケーションの登録を行います。



「名前」は識別できる任意の名前（例：POWEREGG）
※ ここで入力した名前がOffice 365のメニューに表示されます。

このアプリケーションのユーザー向け表示名（後ほど変更できます）。

POWEREGG

サポートされているアカウントの種類
このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか？

- この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (D-CIRCLE, INC. のみ - シングルテナント)
- 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)
- 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)

選択に関する詳細...

「サポートされているアカウントの種類」は、ご利用の環境に応じて選択してください。

リダイレクト URI (省略可能)
ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。

Web

続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります

登録

入力後、登録をクリックしてください。

「リダイレクトURI」は、
“https://[サーバ名]/pe4j/aadlogin”
※ [サーバ名]：クライアントからアクセスするサーバ名 or IPアドレス
本資料では例として o365.poweregg.net というサーバ名を使用します。

登録したアプリケーションの「認証」の設定を行います。

ダッシュボード > アプリの登録 > POWEREGG - 認証

POWEREGG - 認証

下記項目の設定後、「保存」を押してください。

検索 (Ctrl+/) << **保存** 破棄 新しいエクスペリエンスを試... その他

概要
クイックスタート
管理
ブランド
認証
証明書とシークレット
API のアクセス許可
API の公開

最初に「認証」を選択してください。

リダイレクト URI

ユーザー認証に成功した後に認証応答（トークン）を返すときに宛先として受け入れる URI。応答 URL とも呼ばれます。
[Web、モバイル、デスクトップクライアントのサポートの追加に関する詳細](#)

種類	リダイレクト URI
Web	https://o365.poweregg.net/pe4j/aadlogin
Web	ps://o365.poweregg.net/pe4j/aadlogin4sharepoint ✓
Web	例: https://myapp.com/auth

「リダイレクトURI」に “https://[サーバ名]/pe4j/aadlogin4sharepoint” を追加

URI の追加

リダイレクトURIの入力欄が表示されていない場合は、「URIの追加」リンクを押してください。

暗黙の付与

アプリケーションが承認エンドポイントからトークンを直接要求すること許可します。アプリケーションが Single Page Architecture (SPA) を備えている場合、バックエンドコンポーネントがない場合、JavaScript を使用して Web API を呼び出す場合にのみ推奨されます。

暗黙的な許可フローを有効にするには、承認エンドポイントが発行するトークンを選択してください。

アクセス トークン

ID トークン

「暗黙の付与」で「IDトークン」にチェックを入れてください。

アプリケーションの「APIのアクセス許可」の設定を行います。

ダッシュボード > アプリの登録 > POWEREGG - API のアクセス許可

POWEREGG - API のアクセス許可

検索 (Ctrl+/)

- 概要
- クイックスタート
- 管理
 - 最初に「APIのアクセス許可」を選択してください。
 - APIのアクセス許可**
 - APIの公開
 - 所有者
 - ロールと管理者 (プレビュー)
- 証明書とシークレット

APIのアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環として...
ている場合、APIを呼び出すことが承認されます。精...
ケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める...

+ アクセス許可の追加

API / アクセス許...	種類	説明
Microsoft Gra		
User.Read	委任済み	Sign in and re...

**「Microsoft Graph」を
クリック**

検索する...
検索する...

[ヘルプ / フォントフェイスを参照](#)

API アクセス許可の要求

Microsoft Graph
https://graph.microsoft.com
アプリケーションに必要な...

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サイ...
セスする必要があります。

アクセス許可を選択する

検索するテキストを入力

アクセス許可

- email
View users' email address

Microsoft Graphの下記の委任されたアクセス許可を追加

- email
- Mail.Read
- Mail.Read.Shared
- Mail.ReadBasic

Mail (3)

- Mail.Read
Read user mail
- Mail.Read.Shared
Read user and shared mail
- Mail.ReadBasic
Read user basic mail
- Mail.ReadWrite
Read and write access to user mail

**「アクセス許可の更新」を押して戻り、
「(組織名)に管理者の同意を与えま
す」をクリック**

アクセス許可の更新

同意する

管理者は、このディレクトリのすべてのユーザーに...
ユーザーに管理者の同意を与えると、エンドユーザ...
同意画面が表示されなくなります。

D-CIRCLE, INC. に管理者の同意を与えます

D-CIRCLE, INC. のすべてのアカウントについて、要求されたアクセス許可に対する同意を付与しますか? この操作により、このアプリケーションが既持っている既存の管理者の同意レコードが、以下の一覧の内容に一致するよう更新されます。

アプリケーションの「クライアントシークレット」の設定を行います。

ダッシュボード > アプリの登録 > POWEREGG - 証明書とシークレット

POWEREGG - 証明書とシークレット

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、アプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアントシークレットではなく) 証明書を使用することをお勧めします。

最初に「証明書とシークレット」を選択してください。

「説明」：任意の説明
有効期限：任意の有効期限
※ 有効期限が切れると連携できなくなるため、「なし」を推奨します。

このアプリケーションには証明書が追加されていません。

押印	開始日	有効期限
----	-----	------

クライアントシークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーションパスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアントシークレット

説明	有効期限	値
----	------	---

このアプリケーションのクライアントシークレットは作成されていません。

クライアントシークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーションパスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアントシークレット

説明	有効期限	値
POWER EGG KEY	2299年1...	5.zQ@AkAaZglpJ8yo5]ji+MwUFyr8C-q [↑]

「説明」：任意の説明
有効期限：任意の有効期限
※ 有効期限が切れると連携できなくなるため、「なし」を推奨します。

クライアントシークレットの追加

説明
POWER EGG KEY

有効期限
 1年
 2年
 なし

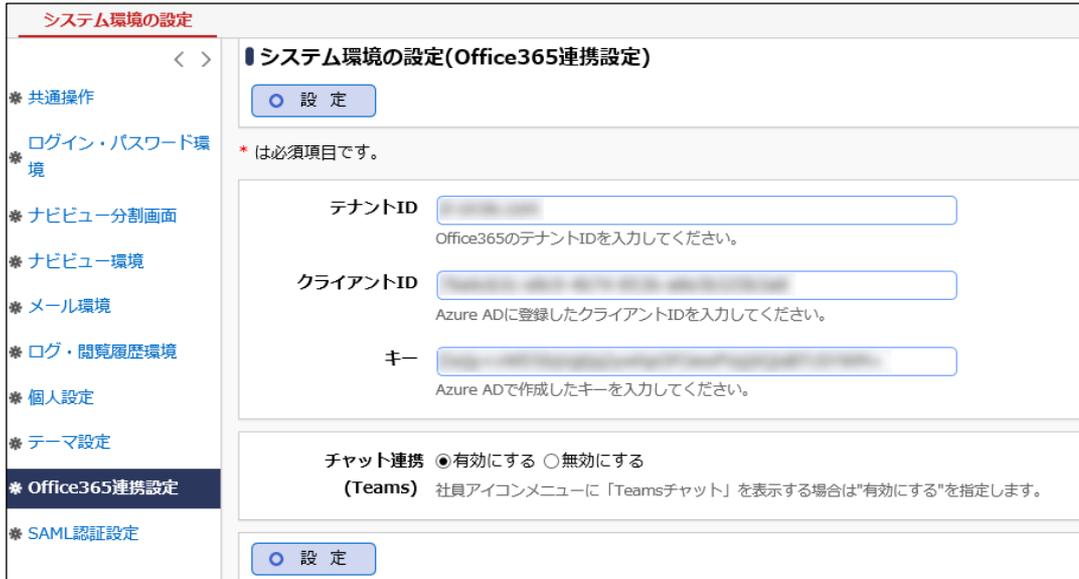
追加 キャンセル

追加されたクライアントシークレットの「値」を、テキストファイル等に保存しておいてください。

※ 「値」は、後から参照できなくなります。わからなくなった場合は、クライアントシークレットを削除して再作成してください。

POWER EGG上で、Office365連携に必要な情報を設定します。

POWER EGG[システム設定]-[システム環境の設定]-[Office365連携設定]



※ チャット連携(Teams) は、Ver.3.2c以降で利用可能です。

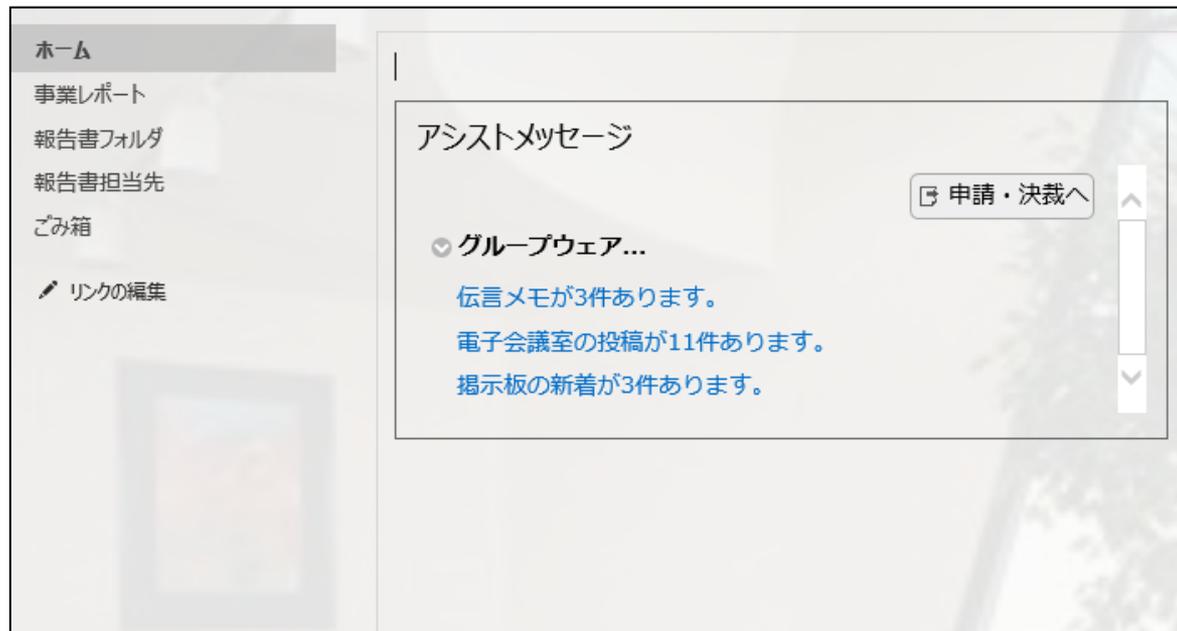
- テナントID : Office365のテナントID(メールアドレスの@以降の部分、ドメイン名)
- クライアントID : アプリケーション(クライアント)ID ※ アプリケーションの「概要」で確認できます。
- キー : クライアントシークレットの「値」



チャット連携(Teams) : 社員アイコンメニューからTeamsを起動する場合は、“有効にする”を指定

SharePointにWebパーツとしてPOWER EGGのURLを設定します。
POWER EGGへのログインは、SSOで自動的に行われます。

設定するURL : `https://サーバー名/pe4j/aadlogin4sharepoint`



SharePointポータルにアシストメッセージを表示する場合は、POWER EGGはhttpsプロトコルでアクセスするように設定する必要があります。
(httpsでないと、ブラウザのセキュリティによりページが表示できません)

SharePointの設定方法の詳細は、別紙「モダンUIのポートレット登録方法」をご参照ください。

- PCリマインダー、リマインダー for iPhone、リマインダー for Androidは、Office 365のシングルサインオンには対応していません。（※POWER EGGに登録されているユーザーIDとパスワードでログインする必要があります）
- Office 365連携を行うには、POWER EGG へ HTTPS でアクセスできるように設定する必要があります。
- Office 365連携を行うには、POWER EGG の Web サーバが以下のネットワーク要件を満たしている必要があります。
 - ・HTTPS プロトコルにてインターネットにアクセスできること
 - ・インターネット上の以下のホストの名前解決ができること
graph.microsoft.com
- ログインしていない状態から、POWER EGGの特定のページにアクセスするときに表示される「ログイン画面」はOffice 365の認証連携に対応していません。
- POWER EGGナビビューのe-Mailタブには、Office 365の受信トレイの未読メールのみが表示されます。受信トレイ配下に作成したフォルダ内の未読メールは表示対象になりません。